令和６年度大規模災害協定に基づく連絡会議事録
（大隅ブロック）

日　時：令和６年５月31日（金）　10:00～11:00
場　所：大隅地域振興局　本館３階中会議室
出席者：【大隅地域振興局 建設部　18名】

建設部長（小濵 磨）	土木建築課長（黒木 信三）
河川港湾課長（相星 憲志）	参事（曽於市駐在　本後 和浩）
参事（志布志市駐在　豊倉 勇司）	土木建築課 技術補佐（大内田 正人）※進行
河川港湾課 技術補佐（本地 雄一）	技術補佐兼道路維持第１係長（若松 昭彦）
技術主幹（曽於市駐在 平田 芳朗）	技術主幹（曽於市駐在 柏木 隆慶）
技術主幹（志布志市駐在 新澤 英作）	道路建設第１係長（木藤 義和）
技術主幹兼道路建設第２係長（有馬 浩士）	技術主幹兼道路維持第２係長（中園 伸由起）
技術主幹兼河川砂防第１係長（兒島 弘志）	技術主幹兼河川砂防第２係長（笠井 純一）
技術調整係長（新 織恵）　※事務局	土木技師（基島 裕之介）　※事務局

【鹿児島県測量設計業協会　12名】

会長（安永 幸信）　　理事（岩満 俊一郎・坪内 己喜男）
連絡責任者（正）　（株）錦城（早崎 孝志）
連絡責任者（副）　（株）南日本技術コンサルタンツ（谷口 光久・佐々木 晋司）
地元業者　６名

【鹿児島県地質調査業協会　６名】

理事長（梶原 景友）　副理事長（川邊 信也）　　理事（松元 啓輔・緒方 康浩）
監事（林 秀一）　　支援派遣班長（原田 研一）

会議資料

大隅地域振興局より（資料1）

1. 会次第、出席者名簿・配席図
2. 測量設計業協会・地質調査業協会の協定書・様式等
3. 大隅地域振興局建設部資料
   1）大隅地域振興局建設部連絡体制、2）緊急輸送道路ネットワーク計画図
   3）管内の概況、4）公共土木施設等の台帳

鹿児島県測量設計業協会より（別冊1）

災害支援協力に関する協定の経緯、フロー図、調査時の着衣、連絡体制、名簿等

鹿児島県地質調査業協会より（別冊2）

災害支援協力に関する協定の経緯、調査時の着衣、連絡体制、名簿等

議事録（司会･進行:土木建設課 技術補佐　大内田 正人）

１.開会挨拶

小濵 磨 建設部長

安永 幸信 鹿児島県測量設計業協会 会長

梶原 景友 鹿児島県地質調査業協会 理事長

２.令和６年度の連絡体制について（資料1）

被災状況調査に係る支援協力に関する連絡体制（赤書きが今年度変更点）資料1 P.63

緊急輸送道路ネットワーク計画図（最新版を添付）資料1 P.64

３.大規模災害支援協力について（測量設計業協会）

別冊 1 に基づき、災害支援協力に関する協定の経緯、協会の活動内容、フロー図、調査時の着衣、連絡体制、名簿等の説明

４.大規模災害支援協力について（地質調査業協会）

別冊 2 に基づき、災害支援協力に関する協定の経緯、協会の活動内容、調査時の着衣、連絡体制、名簿等の説明、過去の事例紹介

５.意見交換

【測量設計業協会】

昨年度は大隅ブロックの大根占管内でも大規模な災害が発生したと報告があったので、協会員全社に声を掛けていたが、支援協力要請は曽於管内のみであったため、19 社で対応にあたった。

【大隅振興局】

曽於管内は、職員が地元対応に追われ被災場所の把握が困難な状況であったため、支援協力の要請を行った。

【測量設計業協会】

地域振興局や鹿児島県建設技術センターより、道路・河川台帳等のデータ提供について迅速に対応して頂き、即座に調査着手できたことに感謝しています。

【測量設計業協会】

昨年度は、大隅ではＤＸ対応（査定）を行っていない。便利になっているので活用したい。

【大隅振興局】

曽於駐在は 360°カメラを購入して活用している。

【測量設計業協会】

360°カメラやドローンを用いることで目視できない箇所や立ち入れない箇所の状況を確認することができ、より細かく被災状況の確認ができる。

５.意見交換（続き）

【地質調査業協会】

大隅ブロックに拠点を置いている会社は、通常業務が受注できるからこそ災害時への対応が可能となる側面もある。その点を踏まえて通常業務においても地元の会社へ配慮をお願いしたい。

豪雨が収まった後に調査を行うのですが、雨上がりは湿度・気温共に高く熱中症になる恐れがある。調査において影響が大きいが、できるだけ早く調査を終了し報告が行えるように各社取り組んでいる。

【大隅振興局】

建設業は、地元で頑張っている会社があるからこそ地域の方々が安心して生活できると考えている。県としても地元の会社は大切にして行きたいと考えている。

【地質調査業協会】

地質調査業協会の会員は、鹿児島市に本社を置いている会社が多く、大隅ブロックとは距離がある。しかし、発災時は直ぐに対応出来るように協会員でガソリン代等の災害用の予算を積み立てている。連絡を頂けたら即座に対応できる体制は常に出来ている。

また、大規模災害時はボーリング機械が不足することが危惧される。その際は、協会員で、人材・機材の手配等の連絡体制も整えている。

【大隅振興局】

職員で調査・把握が出来ない規模の災害は「大規模災害」と捉えている。その際は、災害支援協力をよろしくお願いいたします。

【測量設計業協会・地質調査業協会】

遠慮なく連絡を下さい。

閉会（AM11:00）

連絡協議会風景